

## 西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に関する地域意向調査 【Q&A 編】

これまでの説明会等でよくいただいた質問等への回答を下記のとおり、まとめていますので、アンケート回答にあたり参考にしてください。また、合わせて【資料編】もご一読ください。

	ご質問	回答
1	<p>なぜ、西脇東中学校と黒田庄中学校の統合（中学校の3拠点化）がいま必要なのか。</p> <p>2校だけでなく、西脇中学校との統合を急げないのか。</p>	<p>学校の統合については、西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議（以下、同会議）で、令和2年度から議論され、それに基づき、令和6年1月に西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画（以下、同計画）を策定しました。同計画では「資料編」に記載のとおり、中学校の適正規模について1学年2クラス以上を確保することとしています。</p> <p>そのため、すでに1学年1クラスの学年が生じている両校の現状から西脇東中学校と黒田庄中学校の統合（他地区の中中学校2校と合わせて市内中学校の3拠点化）が必要と判断しました。</p> <p>なお、早急な2拠点化となると、早期の開校が難しく、時間がかかることが想定され、すでに1学年1学級となっている両校の現状から、まず3拠点を経て、将来的な生徒数の減少等の動向等を踏まえながら、2拠点とする答申が同会議から提出されました。これらのことから、答申を尊重し、まず3拠点を経る同計画を策定しました。</p>
2	<p>統合校の名称や校歌などはどうなるのか。</p>	<p>統合校は、令和9年4月に新しい中学校として開校します。校舎は、西脇東中学校か黒田庄中学校のどちらかの校舎を活用しますが、両校ともに令和9年3月には閉校することになります。</p> <p>統合校の名称や校歌、校章などは、統合校として活用する校舎を決定次第設置する予定の開校準備会議で検討のうえ、決定します。</p>
3	<p>学校が統合された場合、跡地はどうなるのか。</p>	<p>廃校となる学校施設については、重要な社会資本であることから、小中学校廃校舎施設等の利活用に関する基本方針（仮称）を示し、当該地域に十分な情報提供を行うとともに、当該地域と十分に協議しながら、利活用・処分等の方向付けを行うことになると想定しています。</p>
4	<p>学校（黒田庄中学校）が統合された場合、避難所はどうなるのか。</p>	<p>統合後の校舎の活用有無や活用方法によって、指定避難所の指定の見込みは変わるものと考えますので、現段階では判断できません。（建物を活用しない場合は、日常の維持管理面から避難所としての指定は困難）</p> <p>なお、避難所の指定は、具体的には、災害対策基本法に基づき、災害の種類に応じて、公共施設等を指定避難所として市が指定しています。</p> <p>また、指定の際には、必要に応じて、地元等と調整を行うことが想定されます。</p>
5	<p>統合校への距離が遠くなる生徒はどのように通学するのか。</p>	<p>「資料編」裏面に記載のとおり、一定の基準等に照らし通学支援対象者となった場合には、通学バス（無償）か公共交通機関の定期券購入補助のどちらかの支援を行うことを予定しています（選択可）。</p> <p>また、支援対象となっても自転車を併用することは可能です。</p>

6	西脇東中学校を統合校として活用する場合、増築校舎はプレハブ建物で環境が劣るものなのか。	<p>「資料編」裏面に記載のとおり、西脇東中学校を統合校として活用する場合、習熟度別授業等を行うなど学級を2つに分けて授業を行う際のみ使用する教室(最大3室)が不足します。</p> <p>一般的なプレハブ建築は、工事中など短期間使用する仮設建物等【写真1】がイメージされますが、今回は、仮設建物ではなく、常設の建物【写真2】を想定しています。</p> <p>そのため、仕様等は従来の建築物に近く、学校教室として長期間の使用に耐えうるものを想定しています。</p> <p>そのため、教室としての安全性、快適性は既存校舎等に比べて著しく劣るものではありません。</p>
---	---	--

### 【参考】増築校舎イメージ



写真1 仮設建物



写真2 常設建物